

大規模な地震想定 仮設トイレを設営

松波総合病院で訓練

笠松町田代の松波総合病院で大規模な地震を想定した訓練が開かれた。断水が

大規模災害を想定し、仮設トイレを組み立てる職員。笠松町田代、松波総合病院



続いた能登半島地震の教訓から、仮設トイレの設営を行った。

被災地に派遣された同病院医師からの「トイレが不衛生で、ノロウイルスなどの二次感染があった」「トイレに行かないために飲食を控え、脱水症状を訴えるケースもあった」との意見を受けて実施した。

マグニチュード9の地震が発生し、上下水道の断水を想定。災害対策本部を設置した後、仮設トイレを組み立て、使用しないトイレの封鎖を行った。

(安井真由子)